



044	ジン・T50・ゴールドブロンズ、T50・GBDDR
044	ブロンズに新たな解釈を加えたダイバース・ウォッチ
048	2023年ブランド別新作パート2
048	歴史を紐解き、あるいは新たな風を吹き込んだ新作たち
069	オーデマピゲ、ロイヤルオーク オフ ショア、誕生30周年
075	「ビースト」(野獣)と呼ばれた異端児の誕生の背景を探る 1993年にデビューしたロイヤルオーク オフ ショアは、ロイヤルオーク以上にセンセーションを巻き起こした。またそのアイデアから製品化までには多くの葛藤があり、難産であった。その誕生の背景を探ってみよう。
075	新生と再出発——モノリス／シャルル・ジラルディエ／大塚ローテック／HYT
085	発展を目指し、新たな扉を開けた人々 時計の創作に乗り出した建築家の窪田勝文氏、18世紀から19世紀にジュネーブで活躍した時計師の名を復活したパトリック・ウルム氏、昔懐かしい機械を思わせる時計作りに取り組みむ片山次朗氏、再出発したHYTを取り上げる。
095	時計も未来を考えるVI
100	腕時計新着情報
100	レペ、グレネード
101	「ピンを抜いて今を生きよう!」のメッセージを込めたクロック
102	チューダーブティック渋谷
102	国内最大規模のブティックがキャットストリートにオープン
103	オメガ、第20回世界水泳選手権
103	アスリートたちを支えるスポーツ・タイミング
104	ベル&ロス協賛フランス大使館主催「日仏友好イベント」
104	初来日のラファール戦闘機に沸いた所沢航空記念公園の1日
105	第13期ウォッチコーディネーター、第8期上級ウォッチコーディネーター試験11月から受付開始
106	ウォッチコーディネーターを増やすために門戸を広げる
106	スイスの時計産業と日本を繋ぐスイス時計協会(FH)第9回
106	インフォメーション／問い合わせリスト／次号予告



パテックフィリップ 《ウオッチアート・グランド・エキシビション(東京2023)》

# 未来に向けて継承されるべき文化である ヨーロッパの時計製造の奥深さを広く伝えたい

2023年6月10日から同25日まで東京・新宿の住友ビル三角広場で開催された《ウオッチアート・グランド・エキシビション(東京2023)》には約6万人が訪れた。東京での開催はシンガポールに次いで第6回目だったが、その規模は過去最大規模を誇った。時計文化をさまざまな角度から展示し、その奥深さを多くの人に伝え、共感を得ることで未来への継承に繋げる、という点からも意義深いものだった。

ルイ・ヴィトン「タンブルウォッチコレクション」

# 高級時計メゾンとして確立するため 下された決断



「タンブル」と共にスイス時計業界に進出したルイ・ヴィトンはそれから21年を経て、さらなる高みを目指す新たなヴィジョンを発表した。これに伴い次代を担う基幹モデルとなる新タンブルが誕生した。それは新たな船出にふさわしい「タンブルにしてタンブルにあらざ」と言える渾身の作であった。

オーデマピゲ「ロイヤル オーク オフショア 30周年」

# 「ビースト(野獣)」と呼ばれた異端児の 誕生の背景を探る



1993年12月13日にイタリアで販売された「ロイヤル オーク オフショア」 25721 No.32.

1993年のバーゼルフェアでデビューした「ロイヤル オーク オフショア」は今年、誕生30周年を迎えた。1973年に登場した「ロイヤル オーク」以上にセンセーションを巻き起こし、その大きく分厚いケースから「ビースト」というニックネームさえつけられたほどだった。しかし2000年代に入ると人気が高まり、市民権を得た。異端児ともいえるこの時計の誕生の背景をみてみたい。

新生と再出発——モノリス、シャルル・シラルディエ、大塚ローテック、HYT

# 発展を目指し新たな扉を開けた人々

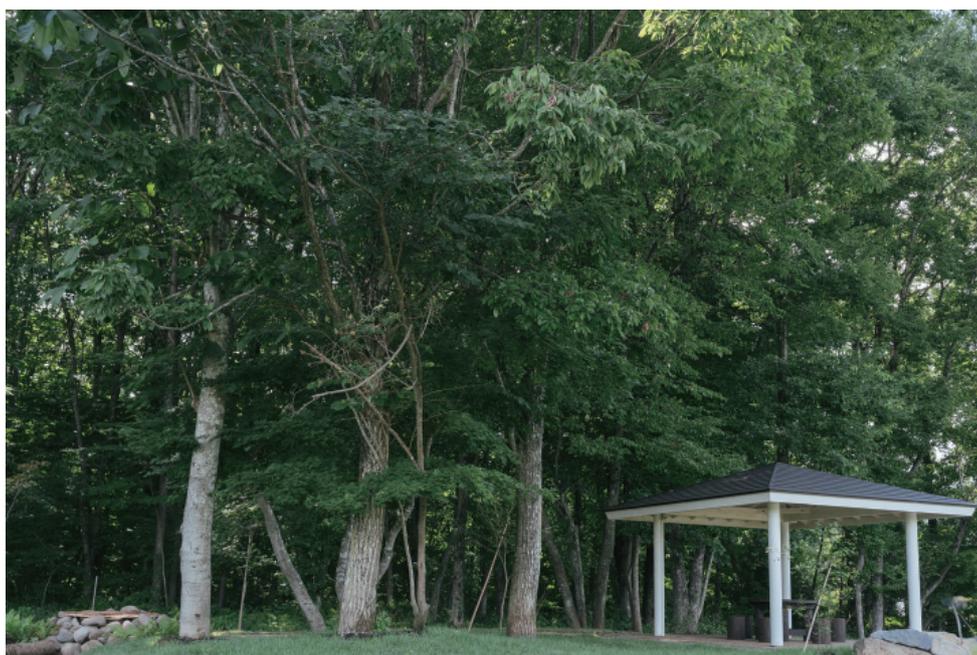
数多のブランドが凌ぎを削る時計業界だが、それでも時計の世界に自らの夢を託す人は少なくない。オリジナルの時計を作りたい、との思いから時計の創作に乗り出した建築家の窪田勝文氏、歴史に埋もれた過去の時計師との出会いからブランドを創業した起業家パトリック・ウルム氏、古き良き時代の機械を思わせる時計作りにひとり取り組む片山次朗氏、そして再出発したHYTを取り上げた。



時計も未来を考える〈VI〉

## 森林を守り、絶滅危惧種を救い、生物多様性を問いかける人々

持続可能な社会を作り、地球環境を守り、人類が未来永劫この地球で安心して暮らせるようにするためには、自然に目を向けることも必要不可欠な要素にちがいない。また自然環境の保護はその地域に暮らす人々の生活の質の向上にもつながる。今回はSDGsという言葉が生まれる以前から社員たちの力で周辺の環境と生物多様性の保護に力を注ぐ盛岡セイコー工業や、世界各地で森林保護に取り組むプロジェクトを支援するオーデマ・ピゲ財団フォーリーズ、数多くの環境保護プロジェクトを支援するロレックス、アフリカのサイを密猟者から守る活動を支援するウブロを取り上げた。



2022年8月に開設された盛岡セイコーの「わくわくトープ」。東屋の周囲にはヤマモミジやコナラ、ホオノキなど栗石に自生する山野草や樹木が植栽された。時計工場の敷地内であるとは思えない安らぎがここにはある。 Photo/©SEIKO

ワールド・ムック1305  
WORLD WRIST WATCH

KESAHARU IMAI  
Publisher

TOMOKO KAYAMA  
Editor in Chief

KAZUO TSUBOI  
Advertising Director

SHUNSUKE OGAWA  
Production Director

HIROSHI SASAGAWA  
Circulation Manager

DTP  
BASE

Cover Photo/  
Takenori Aoki (WPP)

●本誌に掲載されている価格は  
令和5年8月31日現在の調べによるものです。  
本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。  
© WORLD PHOTO PRESS 2023

## 【次号予告】

# 次なる飛躍を目指して

## パルミジャーニフルリエ

## カールF.ブヘラ

パルミジャーニフルリエは2021年にCEOに就任したグイド・テレニ氏の下で一部の時計愛好家だけが知るブランドから多くの人が求める人気の高級時計へと変貌を遂げました。この発展の過程を振り返ります。

カールF.ブヘラは高価格帯の時計に特化した高級時計メーカーを目指し、新戦略を打ち立て、ダイナミックに動き始めています。自社開発・製造のペリフェラルローター式の自動巻きムーブメントを核とする発展戦略をみていきます。

## ジュネーブウォッチ・デイズ

ブライトリング、ブルガリ、H.モリザー、ユリス・ナルダンなどが参加して8月29日から9月2日にかけてジュネーブで開催された「ジュネーブウォッチ・デイズ」で披露された新作をご紹介します。

「世界の腕時計」第158号は2023年12月8日発売予定です。

## 世界の腕時計 定期購読のご案内

### 毎号、送料無料でお届けします！

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方  
便利な定期購読を是非ご利用ください。  
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

#### 【年間購読料】

1年間(年4冊) **7,200円(税込)**  
(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



#### 【お申し込み方法】

フリーダイヤル 富士山 富士山

- お電話で(年中無休24時間受付) **0120-223-223**
- インターネットから <http://fujisan.co.jp/sekainoudedokei>
- QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

#### 【お問い合わせ】

富士山マガジンサービスカスタマーセンター  
パソコンサイト: <http://fujisan.co.jp/cs>  
メールの場合: [cs@fujisan.co.jp](mailto:cs@fujisan.co.jp)  
に、お問い合わせください。

#### ■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンサービスとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承下さい。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承下さい。

【お詫びと訂正】 No.156 P65に掲載したロレックスの「パーペチュアル1908」の価格に誤りがありました。18Kホワイトゴールドの価格(誤)2876万8700円、(正)304万5900円です。訂正してお詫びいたします。

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

ワールドフォトプレス総合サイト <https://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K

ワールド・ムック1305

# 世界の腕時計

No.157

令和5年10月15日発行

発行人……………今井今朝春  
編集人……………香山知子  
発行所……………株式会社ワールドフォトプレス  
〒166-0004東京都杉並区阿佐谷南1-12-1  
アズ阿佐ヶ谷  
編集部……………☎03-6383-2319 FAX.03-6383-2583  
メディアビジネス部  
……………☎03-5929-7682 FAX.03-6304-9443  
販売部……………☎03-6383-2390 FAX.03-6383-2574  
印刷所……………大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら  
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。